

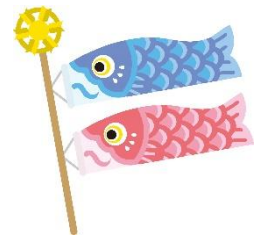


— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
- EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
- 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よしで、みんな笑顔」 大野智恵
- 西日本区理事 「未来への挑戦」
- 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
- アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
- スローガン「健康第一」 大野 勉
- 国際会長 「世界とともにワイズメン」
- スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2022年
5月

889号
(75期11号)



5月 西日本区強調活動 Youth Involvement Activities

ユース達への暖かい支援を。

国際社会へ羽ばたいていく青少年の人材育成に努めましょう。

河口裕亮 Y・サユース事業主任 (彦根シャトー)

西宮ワイズメンズクラブ 2022年5月第一例会

日時：5月13日(金) 19:00~21:00

場所：西宮 YMCA3階会議室

ドライバー：岡田佑一郎メン、浅野純一メン

- 1 開会点鐘・挨拶 会長 廣瀬一雄
- 2 ワイズソング 一同
- 3 聖書朗読 小野勅紘
- 4 食前感謝 小野勅紘
- 5 ゲスト紹介 会長 廣瀬一雄
- 6 会食 一同
- 7 スピーチ 「もらった種とまいた種」
涌嶋克己氏 (WAKKUN)
- 8 お誕生日のお祝い
- 9 ワイズニュース 会長 廣瀬一雄
- 10 YMCA ニュース 藤田良祐
- 11 閉会点鐘 会長 廣瀬一雄

HAPPY BIRTHDAY / MAY

- 4日 足立康幸メン 7日 馬場季公子メネット
- 10日 藤田良祐メン 30日 馬場貴英メン

今月の聖句

「あなたに平和、あなたの家族に平和、
あなたの全てに平和がありますように」

サムエル記上 25章6節

神戸 YMCA 2022年度年間聖句より

(神戸 YMCA 岩井義矢主事選)

小野勅紘

4月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (15金)		第二例会 (22金)	
メン	15名	メン	9名
メネット	1名	メネット	0名
ゲスト	11名	合計	9名
MU	1名		
合計	16名	出席率	72.7%

ファンド

	4月	累計
ニコニコファンド	¥ 6,000	¥43,010
BF@300	¥ 0	¥20,400
震災支援@200	¥ 0	¥13,600

主役員

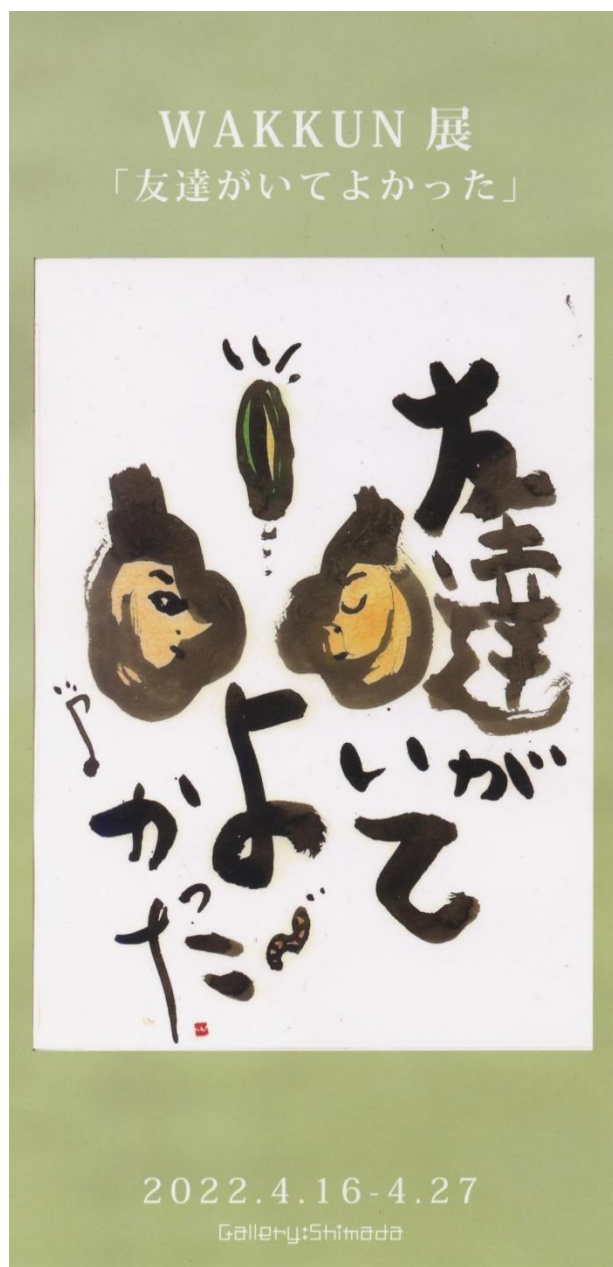
- 【会長】 廣瀬一雄 【直前会長】 万本 敬一 【副会長(次)】 濱 浩一 【副会長】 石井 恭子
- 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎 【会計】 重村 仁, 濱崎 進一 【監事】 阪根 新, 山口 政紀
- 【EMC主査】 濱 浩一 【LD委員】 馬場 貴英 【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎 【担当主事】 藤田 良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄

先月号に続いて一首を
プーチン 切れたよ プーチンと
ロシア 切れたよ おそロシア

先月の23日に五月例会にゲストスピーカーとしてお招きしますイラストレーターの涌嶋さんの個展に山本メン、濱メンや半世紀前のリーダー仲間と訪問しました。



25日は歩き友達と大阪の東横堀川にかかる橋巡りに行きました。写真はその内のひとつ。
30日に神戸ポートクラブ主催の被災地復興チャリティーコンサートに山本メン小野メン重村

メン山口吉郎メン廣瀬メネットと参加。濱メンは事情で来られませんでした。“平和を願って”の素敵な催しでした。

四月の例会、職員さんとの交流会が無事に実施されたのは感謝です。RAINBOW TREEに素敵な歌声を聞かせて頂きながらの会食。ビッグのゲストビジターさんでの盛り上がり。お元氣そうで何よりです。残念ながらゲストシンガーさんがお出あいできるのを楽しみにされておられた山口政紀メンは自宅静養。次回はぜひご出席をいただければと願います。



聖句によせて

小野勅紘

サムエルはモーセの次の時代のBC1020年頃に神の啓示を受けて活躍した初期の預言者です。イスラエル王国が北のイスラエル王国と南のユダ王国に分離する前の最後の預言者です。そしてイスラエル王国初代王に任命したサウルが神に背いたために、2代目の新王としてダビデを任命しました。その後、ダビデ、ソロモンの時代はイスラエル王国にとって一番輝いていた時代として繁栄します。そのサムエルは最後の仕事として、即位したダビデ新王に油を注いだ後亡くなりました。従ってこの言葉はサムエルの言葉ではなく旧約聖書の「サムエル記上」に記載されているダビデ王の言葉です。

サムエルが亡くなった時に、荒野にいたダビデが、羊の毛を刈っていた裕福な羊飼いのナバルに、10人の従者を送ってその従者たちに、ナバルの持っているものを与えて欲しいと要望

した「前段」の言葉です。

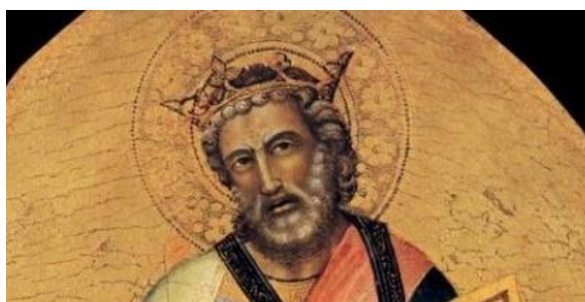
「後段」の言葉は次の通りです。従者たちは羊飼いのナバルに伝言して、貢物をお祝いとして提供するように要求しました。ところがナバルは怒って「ダビデとは何者か。この頃奴隷が逃げだすのはそのせいだ。得体の知れない者に肉を与えることは出来ない」と従わなかった。そこで彼の妻アピガイルはナバルを説得したが、彼は従わなかったため、主はナバルを神の名のもとに打たせてナバルは死んだ。ダビデはアピガイルを憐れんで妻として娶りました。

昨今の世界情勢の中で、「平和」をいかにして維持するかが問われている時代ではないでしょうか。単に平和を維持するといっても口先だけで平和を主張するだけでなく、有効な「行動」が伴わなければ達成出来ない。

我が国日本はそういった真実を先の大戦の大きな代償として学んだのではないのでしょうか。国連の現在の常任理事国はそういった傷を経験していない。だからこそ、今方法は一つではなく新時代への色々な国連改革の有効な方法を世界中が模索しなければならない時である。止む無く従う道もあるが、今のウクライナのように徹底抗戦する道もある。しかし、平和は一方通行では達成出来ない。双方が理解して協力し合うことが必要です。

単に平和を叫ぶだけでなく、平和を維持するにはどうすれば良いか、対話と双方の理解と負担が伴います。平和を損なう者は自身も傷付くことを自覚しなければならない。そのためには私たちはどうすべきかを肝に命ずる時ではないでしょうか。平和維持のためには双方に責任があることを自覚しなければならないでしょう。

(ノーベル平和賞候補として、「世界連邦」を提唱した賀川豊彦の狙いもこのあたりにあったのではないのでしょうか)



4月第一例会報告

藤田良祐

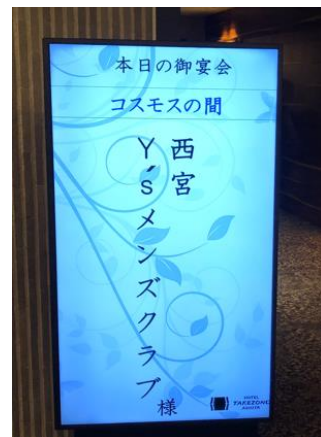
日時：2022年4月15日(金) 19:00~21:00

会場：ホテル竹園芦屋

ドライバー：廣瀬一雄メン、藤田良祐メン

4月例会は西宮 YMCA 職員との懇親会をホテル竹園で行うことが出来ました。コロナの影響で2

年間、職員を例会に招待することが出来ませんでしたので、今回は2年分5名の職員を例会へ招待しました。例会当日は、濱崎メン・岩田メンが受付のご奉仕をくださり、全員分の受付もスムーズに、定刻通りに開会点鐘を行い例会がスタートしました。馬場一郎メンの聖句朗読、食前感謝の祈禱があり、会食前には阪根メンに乾杯のご挨拶を急遽



お願いし、岩田メンと共に盛り上げてくださいました。(急なお願いで申し訳ございませんでした。)乾杯の後は食事をしながらの歓談でしたが、ホテルでは検温、手指消毒、座席間のソーシャルディスタンスなど十分な感染症対策が行われていたので安心して楽しむことが出来たのではないかと思います。

RAINBOW TREE の皆さんによる音楽演奏も素晴らしく、お陰で武田建氏、武田寿子氏もご夫婦で例会へご出席くださいました。テンポの良い演奏を十分に楽しんだ後は、ゲストスピーチ。3月例会に引き続きご参加いただいた西宮市議会議員の鷹野伸氏からはワイズメンズクラブとの懐かし

い思い出などをお話しいただきました。参加した職員からは、自己紹介や担当している業務紹介などがありました。初めてワイズメンズクラブの例会に参加し緊張している面持ちの者もいましたが、学童保育の運営に加えて新たにスタートした「放課後キッズ」の事業紹介もあり、西宮 YMCA で行っている事業と人を知る機会になりました。その後は、お誕生日のお祝い、ワイズニュース、YMCA ニュースを行い、定刻通りに閉会点鐘。楽しい例会はお開きとなりました。

出席者は次の通りでした。

西宮クラブ（16名）：浅野、足立、石井、岩田、小野、阪根、馬場(一)、濱、濱崎、廣瀬、藤田、丸山、万本、山口(吉)、山本各メン
廣瀬メネット

ビジター（1名）：武田寿子メン（宝塚クラブ）

ゲスト（5名）：武田建氏、鷹野伸氏、

RAINBOW TREE 田中氏、百田氏、井関氏

職員（5名）：間氏、池田氏、橋本氏、狩山氏、玉井氏
合計 27名



ウクライナ問題

浅野純一

プーチンはウクライナに「裏切は許さない」と戦争を仕掛けました。「ロシア・ウクライナ・ベラルーシは兄弟ではないか、なぜ、西側になびくのか」と。



NATOに旧東欧のほとんどの国が加わり、旧ソ連のバルト三国も加わりました(2004年)。2008年4月、ブカレストでのNATO首脳会議でアメリカ大統領ブッシュ(子)は、ウクライナとジョージア(グルジア)の将来の加盟に言及しました。これにプーチン大統領(1期目)は切れました。早速、北京オリンピック開会式の日(2008年8月8日)にジョージアへの侵攻を開始しました。次は何としてもウクライナです。「NATOに行くことを阻止する」です。

ウクライナ(辺境との意味)の国土のほとんどはステップ(短草)が広がり、肥沃な土壌に覆われる有数の穀物地帯です。南東部には有数のドンバス炭田とクリボイログ鉄山があり、それが結びついてドニエプル工業地域を形成しています。一方の南西部は山岳地帯も広がり、人口の多くは南東部です。

草原地帯に古くはイラン系遊牧系のスキタイ民族が暮らしていましたが、6世紀ごろからカルパティア山脈の北側に住んでいたスラブ人が東ヨーロッパ平原に移動し始め農牧業に従事します。

9~10世紀、スカンジナビア半島にいたノルマン系民族(ゲルマン系の一派でヴァイキングともいわれる)がヨーロッパ各地に移動しました。第二次ゲルマン民族の移動ともいわれます。その一派のルーシ族(ロシアの語源となる)は南下して、キーウ(キエフ)に公国(のち大公国)を打ち立てます。キーウ大公国はキリスト教のギリシア正教を受容しキリスト教国になり、スラブ民族に同化していきます。

キーウ大公国からいくつかの公国が生まれますが、そのひとつが北東辺境に登場したのがモスクワ公国(前身)で、いわばキーウ大公国の支店です(1263年)。13世紀になり、東ヨーロッパ一帯に

モンゴル人が侵入してきます。キーウ公国は崩壊しますが、代わりに西ウクライナのリヴィウを中心にガリツィア公国が成立しました。ガリツィア公国は、14世紀にポーランドに編入され、次いでリトアニア=ポーランド連合王国(1386~1572)に包摂され、連合王国解体後はポーランド領になります(14世紀)。

一方のモスクワ大公国はイヴァン3世のとき、モンゴル勢力から事実上自立します(1480年)。イヴァン3世は東ローマ(ビザンツ)帝国滅亡(1453年)後、その後継国家であることを宣言し、東方(ギリシア)正教会の首長となり、モスクワは「第三のローマ」(ローマ・コンスタンティノープルに次ぐ)と称します。そしてピョートル大帝(在位1682~1725)の時代にシベリアまで領域を広げ、内外からピョートルはツァーリ(皇帝)、また大公国はロシア帝国と認められるようになります。

19世紀になるとウクライナ東部からクリミア半島にかけて、肥沃な土地と黒海の不凍港を求めてロシア人が入植してきました。ロシア帝国の拡大です。そこでは、ロシア語の使用を強制するなどロシア化が進められます。

一方の西部ですが、ポーランドが分割されて姿を消した(1772年)のち、オーストリア=ハンガリー二重帝国(1867~1918)領になり、第一次世界大戦後は、再び独立を回復したポーランドの一部となります。ウクライナは東西に二分化したのです。

1917年、ロシア革命が起きてボリシェヴィキ(共産党)が政権を獲得しました。ロシア化したウクライナ東部はソ連に組み込まれ悲惨な運命を辿ります。ウクライナでは土地私有制が広まっており、ソ連による農業集団化に農民は激しく抵抗しました。スターリンは徹底的に弾圧し、餓死者が400万人も出たとされます。そこにナチスがやってきます。始め解放者として迎え、ナチスが募集する解放軍に30万人が応募しました。一方でソ連赤軍に200万人が動員或いは応募で出兵しました。ウクライナでは同じ民族が二つに分かれて戦うことになったのです。

現在のウクライナですが、国土は日本の約1.6倍、人口は約4,160万人。民族構成はウクライナ

人約 78%、ロシア人約 17%です(外務省資料)。

ソチ冬季オリンピックの期間中の 2014 年 2 月 18 日に反ロシア・親西欧派による武力革命が起こり、親ロシア派のヤヌコーヴィチ大統領が追放されます。新政権はウクライナ語を公用語とするとしました(早期に撤回)。ロシア語を使用していた住民は反発しました。とくにウクライナ語を使えない公務員は解雇されます。プーチンは早速報復に出ます。オリンピックが終わるや否や、南東部に侵攻しクリミアを併合します。

ウクライナはプーチンが言うところの兄弟なのか、キーウ大公国の後継国はロシアだと言います。しかし、ウクライナ側はガリツィア公国がキーウの後継国で、言語的にもウクライナ語はポーランド語と類似性が高く、キーウ公国とモスクワ公国は連続してはないといえます。大国家ロシア(ソ連)の再現を目指すプーチンはウクライナの親西側政権は憎くてならない。親ロシア政権を打ち立てて、ウクライナをNATOからの防波堤にしなければならないと固く決意します。それを多くのロシア人が支持しているようです。一方で放送中に反戦を掲げた女性は無事にいるのでしょうか気になります。(令和4年4月30日)

参考資料：

佐藤優「民族問題」文春新書(2017年)

ウィキペディア「ウクライナ」「キエフ公国」

「モスクワ公国」他



YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。進級や進学により4月から新しい環境に身を置くことになった子どもたちも、少しずつ新しい生活に慣れてきた頃ではないかと思えます。西宮YMCA保育園では4月1日に入園式を行い、15名の新入園児が保育園での生活をスタートさせました。最初は泣いていた子どもたちも今では笑顔で登園するようになり、改めて子どもたちの順応性の高さに驚かされているところです。新しい環境に慣れるのは大人の方が難しいようで、私にとっては初めての経験となる保育園勤務、4月は園児70名の顔と名前を覚えることに苦労した1ヶ月でした。(4月中は子どもたちが名札をつけていたので、何とか全員の顔と名前が一致するようにはなりました。)コロナへの対応により活動が制限されることもありますが、子どもたちが毎日元気に笑顔で通ってこられる保育園であり続けられるよう努めていきたいと思えます。



1. イースター早天礼拝

新型コロナウイルスの影響により2年間、イースター早天礼拝の開催が出来ませんでしたが、今年は新たな試みとしてオンライン (Zoom) で4月17日 (日) に礼拝を行い40名ほどの参加がありました。日本聖公会神戸聖ミカエル教会垂水伝道所の與賀田光嗣先生にメッセージをいただき、イエスの復活を祝う時を共にすることができました。

2. 香櫨園小学校放課後キッズルーム事業スタート 西宮市からの委託事業として、香櫨園小学校で

の放課後キッズルーム事業が4月からスタートしています。放課後キッズは保護者の就労の有無に関わらず、全児童を対象として実施する放課後の居場所づくり事業です。4月末現在で300名を超える児童が利用登録をしており、育成センターに入所することができない子どもたちに対する待機児童対策としても効果が期待されています。

3. 今後の予定

(1) 神戸 YMCA 創立記念礼拝

神戸 YMCA 創立 136 年の礼拝は、以下のように三宮会館での参集形式にて実施します。関西学院大学神学部教授の岩野祐介先生にメッセージをいただき、参加者によるグループディスカッションも計画しています。対面での開催のみとなりますが、ご都合の良い方はご参加いただければ幸いです。

日時：2022 年 5 月 7 日（土）15:00～17:00
（14:30 開場）

場所：神戸 YMCA 三宮会館

(2) 神戸 YMCA 大会（総会）

神戸 YMCA に関わる方々が集い、世代を超えて語り合う機会として神戸 YMCA 大会を以下の日程で行います。詳細は改めてお知らせさせていただきます。

日程：2022 年 6 月 25 日（土）

場所：神戸 YMCA 三宮会館（開場参加と WEB 参加のハイブリッドを予定）

ワイズニュース

【今後の予定】

5月13日(金) 第一例会 19:00～21:00
ドライバー浅野メン、岡田メン

5月14日(土) 13:00～19:30 びわこ部会
高島市民会館
マキノグランドパークホテル

5月27日(金) 第二例会 19:00～

6月10日(金) 第一例会 19:00～21:00
ドライバー岩田メン、馬場貴英メン

6月11日(土) 西日本区大会
岡山国際ホテル

6月24日(金) 第二例会 19:00～

青空はれる君

重村仁

四コマ始めて 20 年近くなります。3 作目の「青空はれる君」は 9 年目に入りました。現在知り合い百名余りの方々に毎月お渡ししています。最高齢は 96 才。コロナ禍でこのマンガが元気付けになっているようです。この 4 月で 2649 作、よく続けました。今後も体のゆるすかぎり描こうと思っています。

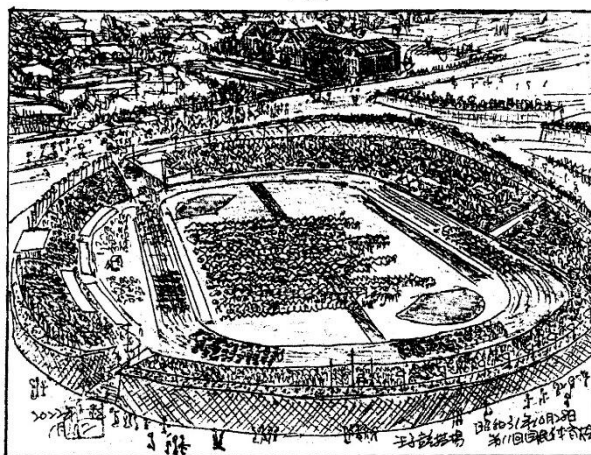
〔以下は神戸新聞記事からの抜粋です 山口吉〕

小学校時代から絵画が得意だった重村さん。広告会社に就職後も、社内報に絵を掲載するなど趣味で活動を続けていた。定年後、父親が沖永良部島、母親が奄美大島出身という関係から、奄美通信の発行人・吉村好昭さんから誘いを受け、4 コマ漫画に挑戦した。同通信は、同県の離島のニュースや出身者の活躍を伝えるため、大阪を拠点に全国の関係者に約 3 千部を送付していた。タイトルは、奄美大島の青い空と、世の中を明るく晴れさせたいという思いをこめて古村さんが命名。

時事ネタに、風刺的要素や艶っぽさを盛り込むなどして描いてきた。主人公は、重村さん自身だが、「半分は願望」だという。同通信廃刊後の新たな小冊子にも、ホットな話題が盛りだくさん。

「世の中のことに敏感にならないと。オチが見つければ、あとはスムーズ」と言い、気になる新聞記事を切り抜くなどネタ探しにも余念がない。今後はより多くの人に読んでもらいたいと考えている。また、子どもたちにも 4 コマ漫画の魅力を伝えたいと意気込む。「4 コマ漫画は自己主張にもなる。ぜひ、教える場を持ちたい」

小画



昭和 31 年王子公園（神戸市灘区）

青空はれる君

NO 2690



NO 2610



NO 2659



e イクサレ
「カワチと茶花」

第5回 「きらりと輝くアート展」

ワイズメンズクラブ六甲部では、2年振りに「みんなと共に生きる共生社会」への歩みの一つとして「きらりと輝くアート展」を以下の通り実施いたします。新型コロナ禍の中、感染の危険のない非接触による作品展が開催できないかと検討した結果、ホームページ上でバーチャルな作品展を開催します。是非ご参加下さい。

日時 2022年6月1日(水)より
 場所 ワイズメンズクラブ六甲部 HP 上
 主催 ワイズメンズクラブ国際協会
 西日本区六甲部
 共催： 公益財団法人神戸 YMCA

編集後記

ブリテン委員 山口吉郎

コロナにより活動が制約され2年余り。今、ちょっと新しい自分へアップデートしなければと感じています。新しい価値観を学ぶ、初めての場所を訪れる、斬新な感性に触れる、聴いた事がない音楽を聴く、出来なかった事にチャレンジする等。某FM局のキャッチコピーですがその通りと思います。動き出しましょう！

